

「郷土学習の手引」に掲載している学習プランの一覧

校種	番号	表題	学年	教科等	概要	QRコード
小学校	1	みんないきている (奈良県道徳教育郷土資料)	第1学年	道徳	動物を見たり触ったりして気付いたことや感じたことなどについて話し合うことを通して、生命を大切にする態度を養う。	
	2	「わたしの狛犬(こまいぬ)守り神」 -地域の身近な狛犬を鑑賞しよう-	第3学年	図画工作	学校の近くの神社にある「狛犬」を題材に、身近な造形の面白さや楽しさを感じ取る鑑賞の授業。	
	3	オンダ祭りに注目しよう	第4学年	社会	県下のオンダ祭りなどの伝統行事の学習を通して、継承されてきた文化や行事を支えてきた人々の思いについて理解を深める。	
	4	奈良県の特徴ある地いきの人々のくらし 「シカとともに生きる奈良の町」	〃	〃	奈良のシカを保護・活用している人々について調べ、人々の思いやシカと人との関わりについてを考えるとともに、シカと共存する奈良の町に誇りと愛情をもつ。	
	5	奈良県の特徴ある地いきの人々のくらし 「そうめんづくりがさかんな桜井市」	〃	〃	桜井市でそうめんづくりがさかんになった理由、生産に携わる人々の努力や工夫、願いについて理解し、さかんであり続けるためにどうすればよいか考える。	
	6	奈良県の特徴ある地いきの人々のくらし 「柿の葉すしづくりがさかんな五條市」	〃	〃	五條市で柿の葉すしの生産がさかんである理由、生産に携わる人々の努力や工夫、願いについて理解し、柿の葉すしが郷土食であり続けるための工夫について考える。	
	7	地域の発展に尽くした人々 -倉橋ため池を作った堀江文治・和三郎・文雄-	〃	〃	堀江親子が倉橋ため池をつくったことで、農業が発展したことについて考え、現在もため池が自分たちの生活に結び付いていることを理解する。	
	8	ご飯とみそ汁をつくろう -地域に伝わる味を知ろう-	第5学年	家庭	我が国の伝統的な日常食である米飯やみそ汁が、地域によってアレンジされ、今に伝わっていることを理解し、それを生かした調理実習を行う。	
	9	ここがすごい!古墳文化	第6学年	社会	古墳について調べ、まとめ、発表することで、古代の文化や社会について理解を深める。	
	10	古墳を調べよう-黒塚古墳の学習を通して-	〃	〃	身近な古墳の出土品について調べることが大和朝廷の成り立ちを知る上で重要な手がかりになることを理解し、当時の人々の生活の様子を考える。	
	11	鑑賞探偵団「法隆寺の国宝 釈迦三尊像をさがせ」 -言語活動を活用した仏像鑑賞-	〃	図画工作	校外学習で法隆寺を見学する機会を設定し、仏像を対象にした鑑賞活動を行う。	
	12	鑑賞探偵団「安堵町の宝をさがせ」 -美術館を活用した郷土の芸術家の作品鑑賞-	〃	〃	安堵町の芸術家、富本憲吉の作品と縁のある場所を示す安堵町内の地図を手がかりに、県立美術館で作品の鑑賞の学習を行う。	
中学校	13	近畿地方 -歴史の中で形作られてきた人々の暮らし-	第2学年	社会	「近畿地方」の学習の中で、歴史的に形成されてきた景観や街並みをそこなわれないようにするために古都保存法が制定されたことを理解する。	
	14	奈良県が我が国の政治や文化の形成に果たした役割について考えてみよう	〃	〃	県内にある我が国の発祥に関わるものについて調べ、我が国の政治や文化の形成に奈良県が果たした役割の大きさに気づき、地域に対する誇りを育む。	
	15	交通路の整備と都市の繁栄	〃	〃	「近世の日本」の「産業や交通の発達」の学習で、3つの時代の地図を比較することで江戸時代の都市の発展について多面的に考察する。	
	16	橿原周辺の伊勢街道を調べる	〃	〃	身近な地域の道でフィールドワークを行うことを通して、その道や地域が果たした歴史的な役割について理解し、地域に関心をもつ。	
	17	地域の食文化を知ろう -「奈良のうまいもの」博士になろう-	〃	家庭	郷土料理が伝わっている地域のいわれや産業、行事などを調べることを通して郷土「奈良」を知り、それを生かした調理実習を行う。	
	18	つり橋の村 (奈良県道徳教育郷土資料)	〃	道徳	十津川村や新十津川町の人々の郷土に対する思いについて考えることを通して、郷土を見つめ直し、郷土を愛する心情を高める。	

郷土学習の手引

～再発見！私たちの郷土奈良の魅力～



平成30年3月

このリーフレットは、奈良県教育委員会事務局学校教育課のWebページ (<http://www.pref.nara.jp/43341.htm>) からダウンロードできます。



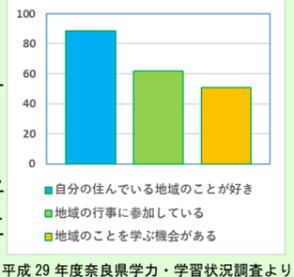
奈良県教育委員会事務局学校教育課

Q：郷土学習とは、どのような学習ですか？

A：「郷土学習の手引」における郷土学習とは、新学習指導要領解説総則編で示された「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」の中の「郷土や地域に関する教育」と「伝統や文化に関する教育」の2つを関連付けた学習です。

新学習指導要領において、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるように示されました。

右のグラフから本県の中学1年生は、「地域の行事に参加している」「地域のことを学ぶ機会がある」と回答した割合が低く、これからも子どもたちに郷土への理解を基に、郷土に対する誇りと愛着を深め、郷土をよりよくしていこうとする態度を育てていくことが大切になってきます。



Q：教科等横断的な視点とは、どういうことですか？

A：教科等横断的な視点とは、教科を越えて育成を目指す資質・能力を明確にした上で、各教科等の内容の関係部分を相互に関連付けながら、各教科等の役割を明確にして学習内容を捉えることです。

郷土学習により育成を目指す資質・能力は、例えば、資質・能力の3つの柱に沿って、次のように設定することなどが考えられます。

- 郷土の伝統や文化、人々の暮らしに対する理解。
- 郷土の文化財や伝統的な生活について、その歴史的背景、保存や継承のための取組などに着目して、その様子を捉え、郷土の人々の願いや努力などについて考え、表現する力。
- 郷土に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚をもち、地域の人々と主体的に関わろうとする態度。

Q：郷土学習は、どの時間にやればいいのか？

A：総合的な学習の時間や各教科等の授業で行います。

「郷土学習」を総合的な学習の時間の内容として設定し、各教科等と関連付けることでより効果的に学習を行うことができます。また、総合的な学習の時間の内容として設定しない場合でも、関係教科等や教育課程全体とのつながりを整理した年間指導計画表を作成し、相互に関連付けながら授業を行うことにより、ねらいとする資質・能力の育成が十分に可能となります。

Q：「郷土学習の手引」はどのように使うのですか？

A：「授業プラン」を参考に、取り上げる地域や教材を各校でアレンジして、年間指導計画に沿った実践を進めましょう。

「郷土学習の手引」では、教科等で行う郷土学習の「授業プラン」を小学校向け12単元、中学校向け6単元について本時略案とともに示しています。

【授業プラン例】(郷土学習の手引参照)

小学校第6学年 社会科

⑩古墳を調べよう
—黒塚古墳の学習を通して—

学習のねらい

- 奈良には古墳がたくさんあり、その古墳の出土品を調べることは大和朝廷(大和政権)の成り立ちを知る上で重要な手がかりになることを理解する。
- 古墳の出土品から当時の人々の生活の様子を想像することで、地域の歴史学習に興味・関心をもつ。

郷土の資源について

天理市内には古墳が点在しており、特に大和古墳群には大きな古墳がある。その中でも黒塚古墳は平成9年に発掘調査された。黒塚古墳は、古墳の出土品から当時の生活の様子を想像することができる。

学習指導要領上の位置付け

第6学年 縄文のむらから古墳のくにへ

学習の流れ

1. 黒塚古墳で鏡が発見された新聞記事を読んで、学習問題をつくる。(1時間)
2. 日本全国の古墳の分布を調べる。
3. 天理市教育委員会「天理市の古墳」を調べる。
4. 古墳の出土品から当時の人々の生活の様子を考える。(本時) (1時間)

展開例(本時4/4)

学習活動	指導上の留意点(※評価規準)	備考
○前時までの学習を振り返る。 古墳からの出土品から当時の人々の生活の様子を想像しよう		
○古墳の出土品を仲間分けする。 ・普段の生活 ・武器に関する ・その他	・教科書・社会科資料集	
○それぞれの出土品をどのように使っていたのか、または、出土品から分かる当時の生活の様子を話し合う。	・ウェブマップを使って、想像したことを広げさせる。	
○話し合った内容をまとめる。 ○当時の生活を想像する。		
【習得すべき知識】 古墳の中にはさまざまなものが納められており、その出土品を調べることで当時の生活の様子が変わる。		

発展的な学習の

総合的な学習の時間で、さらに奈良県内の古墳と出土品を調べ、それを基にした想像図を描いて発表するなどの探究的な学習を展開することが考えられる。

参考文献・Webページ

- ・天理市教育委員会 <http://www.city.tenri.nara.jp/>
- ・朝日新聞縮刷版
- ・学習資料「天理の古墳文化を学ぶ」
天理山の辺の道歴史遺産を学ぶ実行委員会 発行

教科等横断的な視点での学習のイメージ(小学校)

郷土学習を通じて育成すべき資質・能力

- 郷土の伝統や文化、人々の暮らしに対する理解
- 郷土の人々の願いや努力などについて考え、表現する力
- 地域の人々と主体的に関わろうとする態度

社会科	生活科	図画工作科	家庭科	外国語活動・外国語科	道徳科	総合的な学習の時間	特別活動
<p>生活科における「町たんけん」の学習が、社会科の「身近な地域や市の様子」の学習につながります。</p> <p><第3学年> 身近な地域や市の様子</p> <p><第4学年> 県の様子 県内の特色ある地域の様子</p> <p><第5学年> 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連</p> <p><第6学年> 我が国の歴史上の主な事象</p>	<p><第1学年及び第2学年> 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える。</p>	<p><第3学年及び第4学年> 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を広げること。</p> <p><第5学年及び第6学年> 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や考え方を広げること。</p>	<p><第5学年及び第6学年> 衣食住の生活 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。(和食の基本となるだしの役割についても触れること。)</p>	<p><第3学年及び第4学年> 日本と外国の生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。</p> <p><第5学年及び第6学年> 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、適切な題材を変化をもたせて取り上げること。</p>	<p><第1学年及び第2学年> 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛情をもつこと。</p> <p><第3学年及び第4学年> 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。</p> <p><第5学年及び第6学年> 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。</p>	<p>【探究活動】 学校の実態に応じて、例えば、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題などを踏まえて探究課題を設定する。</p>	<p>【学級活動】 学校、家庭、地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や成果への意欲につなげる。</p> <p>【学校行事】 ・文化的行事 文化や芸術に親しむ。 ・遠足・集団宿泊の行事 平素と異なる環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ。</p>